

# 佐藤 紘昭 教育長 就任



新たに佐藤紘昭氏(79)が5月14日教育長に就任されました。佐藤教育長は、北海道釧路市出身で弘前大学を卒業され、これまで国立特別支援教育総合研究所、青森県教育委員会、青森高校校長、弘前市教育長など様々な教育機関で活躍されてきました。

そんな佐藤教育長にインタビューしました。

①教育長としてこれから取り組みたいことはどのようなことでしょうか。

私が教育長を引き受けた理由は「インクルーシブ教育(包摂的な教育)」の実現を目指していることです。多様性を尊重し一人一人の課題や背景に応じた「合理的配慮」を行う教育を目指していきたいです。将来的には「ソーシャルインクルージョン(社会包摂)」の実現につながると思うので学校教育を通じ誰も排除しない町づくりの基礎を築きたいです。

②座右の銘や大切にしている言葉を教えてください。

「虚にいて虚に遊ぶな、虚にいて実を行え」という言葉です。ノーベル賞候補であった梅津八三氏の教えで「理論を振りかざして言葉遊びに走るのではなく、理論に基づき確かな実践をせよ」という意味で、これをモットーに実践記録ノートを大切にしています。

③町の子どもたちや学校にどのような印象をお持ちですか。

深浦町に来てまだ10日ですが、運動会などで、子どもたちが非常に主体的に活動している様子に感銘を受けました。特に中学校では、生徒自身が種目を考案しており、その主体性に感動しています。

④休日はどう過ごされていますか。

野菜作り(家庭菜園)が趣味で青森市の健康農園を借りて楽しんでいました。自宅の庭にはゴーヤを栽培し、乾燥させて「ゴーヤ茶」を作っています。妻と県内をドライブすることも楽しみです。

たくさんさんの教育現場で働いてきた佐藤教育長。「インクルーシブ教育」の実現に向けて各小中学校と協力し、よりよい教育の場作りに取り組みます。これからよろしくお願ひします!

# 地元の料理に舌鼓 深浦会東京交流会

の「深浦慕情」を合唱し、閉会しました。

5月24日(日)、深浦会東京定期総会及び交流会が、きゅりあん(品川区立総合区民会館)にて開催され、約200名が出席されました。総会では令和7年度の活動報告や令和8年度の予算案等が審議され、全て可決されました。



地元料理を楽しむ参加者



地元料理を楽しむ参加者



「深浦慕情」を合唱する様子

# 深浦小・いわさき小 合同田植え体験 (5月27日)

深浦小学校5年生16人といわさき小学校5年生6人が、村上哲也さん(横磯)が耕作する田んぼに約10アールで田植え体験を行いました。村上さんから植え方についての説明を受けた後、はれわたりの苗を手を持ち、裸足でゆっくと田んぼに入りました。最初は歩くのもやっとでしたが、徐々に慣れ、筋引きで目印をつけたところに苗を植えていました。



田植えをするいわさ小

深浦小学校の黄金崎武心(むねしん)さんは「疲れたけど、土の踏み心地が気持ちよかった」と感想を述べました。いわさき小学校の中村心優(しんゆう)さんは「(寝転がったら)ぬっちゃん(寝転がった)と反省していません」と反省していません。



田植えをする深小生

# ～深浦町文化協会では会員を募集しています～

## 大正琴を始めてみませんか!

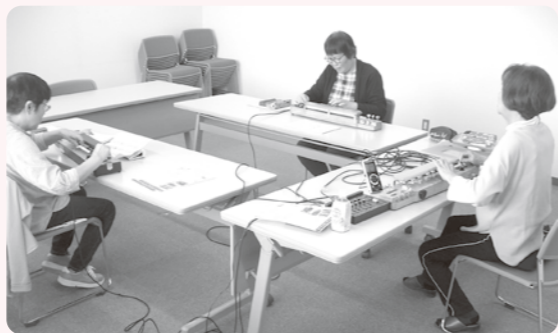
大正琴は、数字譜を使って演奏するため、音譜が読めなくても始めやすい楽器です。4本の弦でメロディーを奏するため、初心者でも直感的に演奏ができます。

演奏は、4種類の琴(ソプラノ・アルト・テナー・ベース)で構成されたアンサンブル演奏が特徴です。

琴伝流・大正琴クローバーの会では、4月から新メンバー3名が加わり、初心者向けの教室を開催しています。

大正琴に興味のある方、いっしょに始めませんか。見学も自由です。

- 1 開催日 第1・4月曜日 10:00～12:00
- 2 開催場所 大戸瀬支所 相談室
- 3 問合せ先 琴伝流・大正琴クローバーの会  
代表 古川信子 76-2196  
深浦町公民館 74-2031



初心者教室の風景



一緒に始めませんか!